記者発表資料

令和８年７月６日
能代河川国道事務所
北　秋　田　市

住民参加型「ダム警報訓練」を実施します

～異常豪雨時等の迅速な避難行動のために～

近年頻発している異常豪雨や局地的な大雨等に伴う水害から身を守るためには、日頃から水害に対する防災意識の向上や備えにより、有事の際の迅速な避難行動に繋げる事が重要です。

森吉山ダムでは、ダムから放流があったことを地域の皆様に周知する役目を持つ警報設備（スピーカ及びサイレン）を設置しています。

本訓練は、放流の際に実際に鳴らす内容を放送し、音の届き方や放送の内容等を住民の皆様と一緒に確認するものです。

地域の皆様におかれましては、是非この機会にどのような音声やサイレンが流れるのかをご確認いただき、いざというときの迅速な避難行動にお役立ていただければと思います。

今回は、新屋布・平里・羽根川地区にお住まいの方々を対象として訓練を実施します。

■　実施日時　：　令和８年７月12日（日）９：００～１１：００

■　場　　所　：　新屋布コミュニティセンター（北秋田市小又新屋布地区）

■　訓練内容　：　①水害や避難についての説明　②警報訓練（防災ラジオ、サイレン）

■　対　　象　：　新屋布・平里・羽根川地区にお住まいの方々（約８０世帯）

※天候等により中止する場合があります。
　中止する場合は、森吉山ダム管理支所ＨＰにてお知らせします。
【森吉山ダム管理支所ＨＰ】
　https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/moriyoshi/index.html
＜発表記者会：秋田県政記者会・能代市記者クラブ・大館市記者クラブ・北秋田市記者クラブ＞

問い合わせ先

〇訓練全般に関する事
国土交通省東北地方整備局　能代河川国道事務所　森吉山ダム管理支所
秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱３１　TEL 0186-60-７２３１
支所長　山内（やまうち）　盛悦（せいえつ）（内線６３２１）

〇避難に関する事
北秋田市　総務部　総務課　危機管理係
秋田県北秋田市花園町１９番１号　TEL 0186-６２-６６０２

【森吉山ダムからのお知らせ】

住民参加型「ダム警報訓練」を実施します

近年、異常豪雨や局地的な大雨等に伴う災害が多く発生しております。

平成１９年９月の豪雨災害では、阿仁川流域をはじめとして、各地で甚大な洪水被害が発生しました。

また、最近では令和６年７月の降雨で秋田県や山形県で洪水が発生し、多数の家屋浸水等があった事も記憶に新しいところです。

森吉山ダムでは、降雨による増水をダムに貯留する役割を担っております。

しかしながら、異常豪雨によってダムの限界を超える雨が降った場合には、ダムに流れ込んだ大量の水がそのまま下流に流れ、小又川や阿仁川の水位が急激に上昇し、洪水が発生することも想定されます。こうした洪水等から身を守るためには、水害に対する防災意識の向上や普段からの備えが重要となります。

これらを踏まえ、以下のとおり「住民参加型のダム警報訓練」を実施いたしますので、お知らせいたします。

・日　　時　：　令和８年７月１２日（日）９：００～１１：００
　　※悪天候等で中止する場合は、前日までにお知らせします。
・会　　場　：　新屋布コミュニティセンター
・対象地区　：　新屋布・平里・羽根川地区
・訓練内容　：　①水害や避難についての説明
　　②警報訓練（実際にラジオ放送やダムのサイレンを鳴らし、
　　音の聞こえ方を現地で確認していただきます。）
　　※詳細は裏面をご確認ください。

※当日、訓練のため１０時３５分頃に防災ラジオやサイレンを鳴らします。
大雨や洪水にならない限り、実際にダムから放流する事はありません。

【問い合わせ・連絡先】能代河川国道事務所　森吉山ダム管理支所　山内
電話番号：０１８６－６０－７２３１

令和8年度_森吉山ダムの住民参加型「ダム警報訓練」

・日　　時 ： 令和8年7月12日（日）　　午前9:00～11:00

・会　　場 ： 新屋布コミュニティセンター

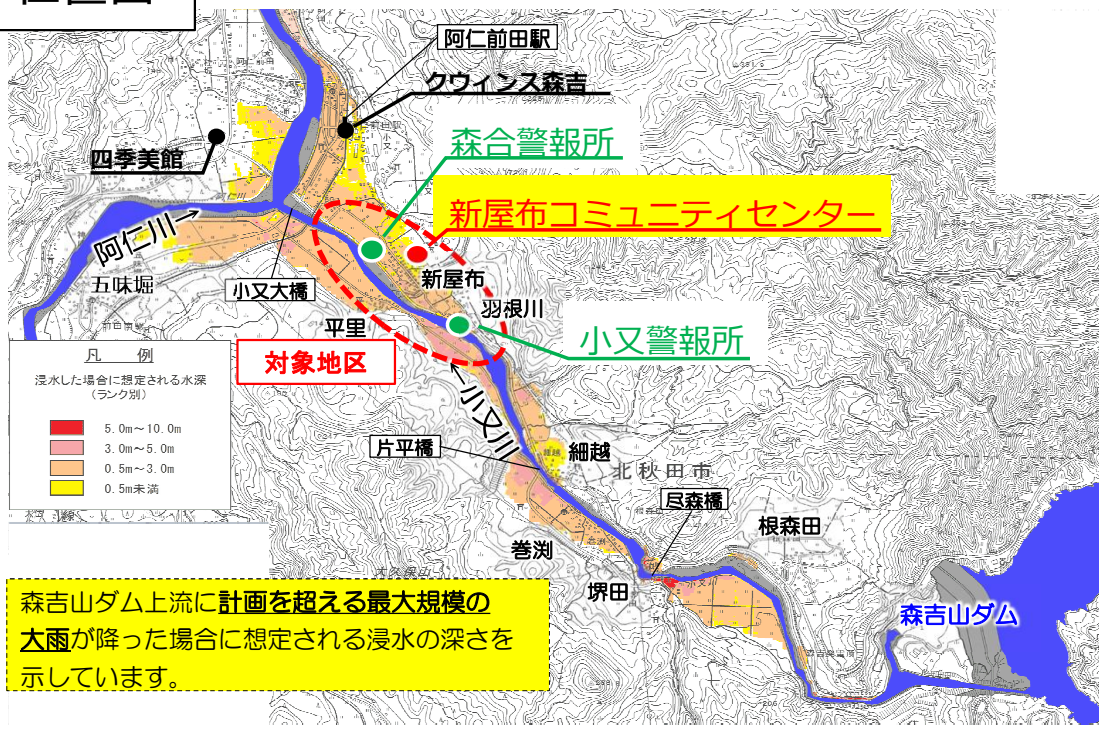
・対象地区 ： 新屋布・平里・羽根川地区

・参加機関 ： 能代河川国道事務所、北秋田市

【スケジュール】

時間	訓練内容等	備　　考
9:00	集合	新屋布コミュニティセンター
9:05	挨拶	能代河国・副所長（河川）、自治会長
9:10	主旨説明	森吉山ダム管理支所長
9:15	緊急放流についての説明	能代河国・技術情報管理官
9:25	洪水調節模型による説明	森吉山ダム管理支所
9:35	VR動画視聴、ここまでの質疑	森吉山ダム管理支所
10:05	避難についての説明、質疑	北秋田市総務課危機管理係
10:35	防災ラジオによるアナウンス訓練	
10:35	警報所によるサイレン吹鳴訓練	小又・森合警報所のサイレン
10:50	全体を通しての質疑・感想	
11:00	解散	撤収

位置図



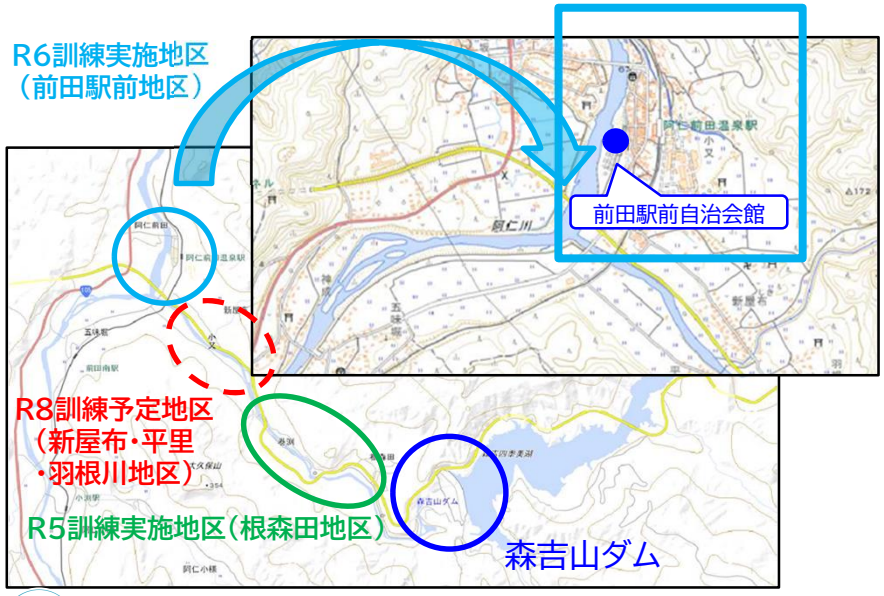
参考 前回の住民参加型「ダム警報訓練」

国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所　河川管理課（ダムライン）

大雨による水害（台風）が多く発生する時期に備えた訓練

- 実施日時：　令和６年９月１５日（日）　９：００～１１：００
- 場　　所：　前田駅前自治会館
- 訓練内容：　①水害についての説明等　②警報訓練（音声放送・サイレン）
- 対象地区：　前田駅前地区
- 参 加 者：　住民１８名

◎訓練では、国交省から「緊急放流」や「洪水調節」について模型やVRを使って説明、北秋田市から「避難」について説明したあと、緊急放流が想定される場合に市の防災ラジオや各警報設備から流される音声放送やサイレンを実際に聞いていただき、音の聞こえ方や内容について意見交換を行いました。



1 水害についての説明等

異常豪雨時の避難行動や、森吉山ダムの洪水調節の仕組み等を説明→



VRゴーグルによる緊急放流シミュレーション映像体験





・疑似体験により効果的な防災行動推進につなげていくもの

2 警報訓練（音声放送・サイレン）





緊急放流時の放送やサイレンを確認

音声放送→サイレン60秒×3回



【いただいた主なご意見】
・アナウンスが聞こえずらいため、音声放送よりもサイレンを先にした方が良い。
・深夜での対応を考えても寝室に防災ラジオがないため、サイレンが先に吹鳴されると良い。
・サイレンの音が全域に届くか不安。

・音の届き方や放送の内容等を住民と一緒に確認（各自席で確認）